



豊中の産業

豆知識

「豊中が第1号店」

全国に12,000超の店舗を展開する株式会社ローソンの1号店は、南桜塚にある「桜塚店」。昭和50年(1975年)6月にオープンし、現在も営業を続けています。また、関西・関東に261店舗(平成28年9月末時点)を展開する食品スーパーライフは、昭和36年に1号店が本町に開店し、当時、最新の欧米型スーパーマーケットとして評判を呼びました。さらに営業収益が5期連続、日本の小売業No.1であるイオン株式会社。その源流の一つにあたる株式会社シロも庄内駅前に「シロ」1号店を出店しました(昭和36年)。

マチの健康ステーション
LAWSON



「コナミグループ発祥の地」

アミューズメント機器の製造からスタートし、今では、デジタルエンタテインメント事業、健康サービス事業、ゲーミング&システム事業などを世界各国で展開する「コナミグループ」。リオデジャネイロオリンピックでは、内村航平選手をはじめとする所属選手も活躍しました。そんなコナミグループは、昭和44年に豊中市上津島で創業。昭和57年まで豊中市内に本社が置かれました。

KONAMI

「豊中に花の卸売市場」

大阪府内に数か所ある花き卸売市場のうち1か所が原田南にあります。切花を取り扱う梅田生花市場、鉢物を取り扱う大阪植物取引所があり、大型プロジェクトと高機能型応札機を導入し、7つのレーンで同時にセリが進みます。



地域発展の礎に
庄内地域の製造業が結束

八興会



昭和15年、のどかな田園風景が広がる豊能郡庄内町で、地元工場をもつ8社が参集。「やがて訪れる激動のとき、困窮のとき、事業者の結束が力になる」と相互の助け合いと切磋琢磨、地域の産業振興を目的に「八興会」が誕生しました。「信、礼、和、睦、徳、行、業、楽」の八つの精神が名前の由来です。地域防災や庄内町への財政支援などで協力し、さらに戦後の復興にも力を尽くしました。

高度経済成長期以降は、公害規制や環境対策、産業構造の変化にも結束して対応してきました。平成7年(1995年)の阪神淡路大震災では庄内地域は大阪府内で最大の被災地となりましたが、八興会では豊中商工会議所と一体となって復興を支援。公的資金の相談窓口を開設するなど被災者救済に取り組みしました。

現在は15社で構成され、地域防災活動の協力など地域貢献に加えて、企業間の相互交流、自己研鑽の場として例会での勉強会など発足時の精神が今日まで受け継がれています。